
宮崎県埋蔵文化財センター年報

第6号

平成14
(2002)
年度

2002

序

本年報は宮崎県埋蔵文化財センターが平成13年度に実施した事業の成果をまとめたものです。

宮崎県埋蔵文化財センターは平成8年の総合博物館からの独立以来7年目を迎えました。東九州自動車道建設に伴う発掘調査も西都清武間を終了し、平成12年度から都農西都間について本格的に実施しております。

近年、埋蔵文化財の保護は勿論のことですが、活用についてもその重要性がますます高まっております。当センターとしましても発掘調査のみならず教育普及の分野でも一層の成果をあげられるよう努力してまいりたいと存じます。

関係各位のご理解とご協力をお願いいたします。

平成14年6月

宮崎県埋蔵文化財センター

所長 米良弘康

目 次

I	組織・施設	1
II	埋蔵文化財センターの沿革	3
III	平成13年度の活動状況	4
1	埋蔵文化財緊急調査	4
(1)	発掘調査	4
(2)	発掘調査に伴う調査指導及び職員の資料調査	9
(3)	出土遺物等整理及び発掘調査報告書の刊行	11
(4)	保存処理	14
(5)	収蔵整理	14
2	教育普及活動	15
(1)	展 示	15
(2)	埋蔵文化財講座「遺跡をたずねて」	16
(3)	施設公開	17
(4)	埋蔵文化財専門職員研修会	17
(5)	現地説明会	17
(6)	広報出版物	18
(7)	資料等の提供	19
(8)	研修・体験学習等の受入れ	21
(9)	会議・職員研修	22
(10)	職員派遣	23
(11)	研究参加	23
(12)	労働安全衛生関係の講習等への参加	23
IV	宮崎県埋蔵文化財センター管理規則	24

施 設

(佐土原本館) 宮崎郡佐土原町大字下那珂4019

構 造 鉄筋コンクリート造・木造平屋一部2階

床面積 1,962.75㎡

本 館	面積 (㎡)	付属建物	面積 (㎡)
事務室	57.76	整理作業棟	216.76
所長室	19.86	調査研究室 (臨時増設)	301.57
情報処理室	33.17	職員室	247.06
会議室	78.52	更衣室	54.51
休憩室	78.52		
調査・研究室	248.55		
復元整理室	293.44		
一次処理室	96.81		
図面整理室	61.62		
写場	64.20		
暗室	12.65		
一次保管室 (2層)	188.00		
図書室 (2層)	193.88		
荷捌室	43.01		
その他	276.00		

(神宮分館) 宮崎市神宮2丁目4-4

構 造 鉄筋コンクリート造2階

床面積 1,652.38㎡

分館 1階	面積 (㎡)	分館 2階	面積 (㎡)
一次処理室	121.20	写場・暗室	49.30
復元整理室	148.30	写真保管室	35.10
保存処理室	49.30	図面保管室	53.10
鉄 器	26.60	収蔵整理室	19.30
木 器	22.70	収 蔵 室	564.00
研 修 室	143.20	特別収蔵室	54.00
事 務 室	41.80		
展 示 室	150.00		
器 材 庫	11.00		
エントランスホール他	212.78		

II 埋蔵文化財センターの沿革

西暦	年 月 日	事 項
1980	昭和55	「埋蔵文化財調査センター建設計画」立案
1981	56	基本設計を実施
1982	57. 1. 9 7. 29 10. 2	起工式 竣工 宮崎県総合博物館埋蔵文化財センターとして宮崎市神宮2丁目4-4に設置。 センター長吉田敏明（兼博物館副館長）以下本務職員2名（岩永哲夫、谷口武範）、 兼務職員8名、嘱託2名発令。出土品等の整理保管と教育普及活動を行う。 開館記念講演「日本文化のふるさとをたずねて、東南アジアの旅から」（講師：国立 民族学博物館教授佐々木高明）。
1983	58. 4. 1	センター長細川達雄発令。本務職員を3名（茂山護、岩永哲夫、谷口武範）に増員する。
1984	59. 4. 1	茂山転出、菅付和樹転入
1985	60. 11. 2	文化財保護協調週間の行事として施設公開を初めて行う。
1986	61. 4. 1 61. 7	センター長久徳菊雄発令。兼務職員7名になる。 毎月第4土曜日の映写会「遺跡をたずねて」を始める。
1987	62. 3 62. 4	埋蔵文化財調査研究報告第1集「陣内第2遺跡、蓮ヶ池横穴墓群－遺物編」刊行。 埋蔵文化財講座を始める。
1988	63. 3 63. 4. 1	埋蔵文化財調査研究報告第2集「下那珂貝塚」刊行。 センター長長友巖発令。本務職員1名（菅付和樹）、兼務職員9名となる。
1989	平成 1. 4. 1	センター長石井祥博発令。本務職員1名（永友良典）、兼務職員11名となる。
1990	2. 3 4. 1	埋蔵文化財調査研究報告第3集「下北方古墳－遺物編」刊行。 兼務職員が13名となる。
1991	3. 3 4. 1	埋蔵文化財調査研究報告第4集「下弓田遺跡－資料編1」刊行。 センター長木幡文夫発令。 設備充実の一環として、軟X線撮影装置等を導入する。
1992	4. 4. 1	センター長藤崎景二発令。 埋蔵文化財センター開設10周年記念企画展「宮崎の埋文情報展'82-'91」を開催す る。脱塩装置・赤外線TVカメラシステム等を導入する。
1993	5. 4. 1 9. 15	センター長後藤健志発令。本務職員1名（長津宗重）、兼務職員15名となる。 空調設備増設。
1994	6. 3. 8	特別収蔵庫設置
1995	7. 1. 29 2. 16 4. 1	一般収蔵庫増設工事完成。 屋根防水工事完了。 センター長関屋清志発令。本務職員1名（長津宗重）、兼務職員24名となる。 県文化課埋蔵文化財第二係（調査部門）を埋蔵文化財センターに置く。
1996	8. 4. 1	宮崎県埋蔵文化財センターとして総合博物館から分離独立し、庶務係、調査第1係、 第2係、教育普及係（第2係兼務）を置く。 所長藤本健一以下職員37名、嘱託1名発令。 鶴島分室（旧婦人相談所：宮崎市鶴島2丁目11-25）を設置し、調査第1係（東九 州自動車道担当）を置く。
1997	9. 3. 17	分室を国富（旧国富農業改良普及センター：国富町大字本庄4777-2）に移転する。
1998	10. 4. 1	所長田中守発令。職員39名、嘱託8名になる。
2000	12. 2. 15 12. 4. 1 12. 9. 30	佐土原に新館が完成し、国富分室を統合廃止する。神宮の旧本館を分館とする。 所長矢野剛発令。課制となり、総務課、調査第一課、調査第二課、普及資料課を置く。 職員52名、非常勤職員12名となる。 分館（研修室、事務室、図面保管室、写真保管室）改築工事完成
2001	13. 4. 1	職員59名、非常勤職員16名となる。
2002	14. 4. 1	所長米良弘康発令。職員63名、非常勤職員17名となる。

Ⅲ 平成13年度の活動状況

埋蔵文化財センターは次に掲げる業務を行っている。

- 1 埋蔵文化財の発掘調査及び研究
- 2 出土品その他の資料の保存活用
- 3 埋蔵文化財の調査研究に係わる図書その他の資料の整備
- 4 埋蔵文化財保護思想の普及啓発

平成13年度は以下に記述する事業を実施した。

1 埋蔵文化財緊急調査

(1) 発掘調査

東九州自動車道や国道をはじめ、国、県施設の建設に伴う分布調査や確認調査、発掘調査を実施している。平成13年度は吉野遺跡（延岡市）、野首第2遺跡（高鍋町）、西畦原第2遺跡（新富町）、

八幡遺跡（都城市）など35遺跡の本調査と東九州自動車道建設関連の25遺跡の確認調査を実施した。

確認調査一覧

	遺跡名	主な時代	所在地	調査原因	調査期間	調査対象面積(m ²)	調査担当	主な遺構遺物
1	中ノ迫 第1遺跡	旧石器 縄文	川南町 川南	東九州 自動車道建設	H13. 9.11 ～ 10.15	4,800	戸高 幸作 戊亥 浩志	なし
2	中ノ迫 第2遺跡	旧石器 縄文	川南町 川南	東九州 自動車道建設	H13.10.15 ～ 11.30	5,800	戸高 幸作 戊亥 浩志 安楽 哲史	旧石器～剥片 縄文～集石遺構 土器
3	前ノ田 村上 第1遺跡	古代 中世	川南町 川南	東九州 自動車道建設	H13. 9.11 ～ 11. 5	8,600	渡部 誠一郎 河野 康男	中世～柱穴 陶磁器・土師器
4	前ノ田 村上 第2遺跡	古代 中世	川南町 川南	東九州 自動車道建設	H13. 9.12 ～ 11.22	8,400	南中道 隆 原田 茂樹 金丸 史絵	旧石器～石器 縄文～土器 弥生～住居跡
5	湯牟田 遺跡	旧石器 弥生 古墳	川南町 川南	東九州 自動車道建設	H13.10. 2 ～ 11.29	11,400	山下 健一 都成 量	旧石器～石器 道状遺構
6	竹鳩遺跡	中世	高鍋町 上江	東九州 自動車道建設	H13.10. 2 ～ 10. 5	4,850	倉蘭 靖浩 安楽 哲史	なし
7	青木遺跡	縄文 中世	高鍋町 上江	東九州 自動車道建設	H14. 1.16 ～ 1.23	650	吉本 正典 下西 武志	縄文～土器 中世～柱穴

	遺跡名	主な時代	所在地	調査原因	調査期間	調査対象面積(m ²)	調査担当	主な遺構遺物
8	野首 第1遺跡	旧石器 縄文 近世	高鍋町 上江	東九州 自動車道建設	H13.12.17 ～ 12.27	1,300	堀田 孝博 安楽 哲史	旧石器～細石核 縄文～土器 近世～屋敷跡
9	南中原 第1遺跡	旧石器 縄文	高鍋町 上江	東九州 自動車道建設	H14. 2.26 ～ 3.28	1,250	山田洋一郎 吉本 正典 下西 武志	縄文～土器 古墳～須恵器
10	老瀬坂上 遺跡	旧石器 縄文	高鍋町 上江	東九州 自動車道建設	H13. 6. 8 ～ 7. 5	3,800	戌亥 浩志 河野 康男 長友 久昭 原田 茂樹 吉富 俊文	旧石器～細石核 縄文～集石遺構 土器
11	唐木戸 第1遺跡	旧石器 縄文	高鍋町 上江	東九州 自動車道建設	H14. 2. 6 ～ 3. 8	5,030	戸高 幸作 横田 通久	縄文～散磔 旧石器～剥片 石核
12	唐木戸 第2遺跡	旧石器 縄文	高鍋町 上江	東九州 自動車道建設	H14. 3.11 ～ 3.22	5,675	戸高 幸作 横田 通久	旧石器～土坑 縄文～炉穴
13	唐木戸 第4遺跡	なし	高鍋町 上江	東九州 自動車道建設	H14. 2. 4 ～ 2.22	1,210	藤木 聡 松尾 有年	縄文～剥片
14	唐木戸 第5遺跡	なし	高鍋町 上江	東九州 自動車道建設	H14. 2.25 ～ 3. 6	2,550	藤木 聡 松尾 有年	縄文～石鏃
15	小並 第1遺跡	旧石器 縄文	高鍋町 上江	東九州 自動車道建設	H13. 5.11 ～ 6. 8	6,500	戌亥 浩志 河野 康男 原田 茂樹 吉富 俊文 長友 久昭	旧石器～石器 縄文～集石遺構 石器
16	小並 第2遺跡	なし	高鍋町 上江	東九州 自動車道建設	H14. 3. 29 ～ 6. 8 H14. 2. 6 ～ 2.25	2,700	戌亥 浩志 吉富 俊文 原田 茂樹 河野 康男 山田洋一郎 吉本 正典 安藤 真二 下西 武志	なし なし
17	牧内 第2遺跡	旧石器	高鍋町 上江	東九州 自動車道建設	H13. 6. 4 ～ 6.27	4,500	山口 昇 大山 博志 永山 博一 下西 武志 鶴戸 周成	旧石器～ナイフ形 石器・剥片
18	音明寺 第2遺跡	旧石器 縄文	新富町 新田	東九州 自動車道建設	H14. 2.18 ～ 3.19	4,940	永野 高行 福松 東一	旧石器～剥片 縄文～土器・土坑

	遺跡名	主な時代	所在地	調査原因	調査期間	調査対象面積(m ²)	調査担当	主な遺構遺物
19	東畦原 第1遺跡	旧石器 縄文	新富町 新田	東九州 自動車道建設	H13.8.1 ～9.10 H14.1.30 ～2.20	6,425 5,390	大山 博志 外山 宏幸 永野 高行 福松 東一	旧石器～剥片 ナイフ形石器 縄文～土坑
20	東畦原 第2遺跡	旧石器	新富町 新田	東九州 自動車道建設	H13.8.2 ～ 9.12	3,803	安藤 真二 原田 茂樹 下西 武志	旧石器～剥片 縄文～土器
21	西畦原 第2遺跡	旧石器 縄文	新富町 新田	東九州 自動車道建設	H14.2.12 ～ 3.12	5,870	南中道 隆 金丸 史絵	旧石器～剥片 三稜尖頭器 縄文～石鏃
22	一丁田 遺跡	なし	新富町 新田	東九州 自動車道建設	H13.8.3 ～8.29	3,619	戌亥 浩志 河野 康男	なし
23	尾小原 遺跡	旧石器	新富町 新田	東九州 自動車道建設	H13.5.14 ～ 6.1 8.6 ～ 9.4	3,720 7,588	山口 昇 安藤 真二 大山 博志 鶴戸 周成 永山 博一 下西 武志 新町 芳伸 鶴戸 周成	旧石器
24	向原 第1遺跡	旧石器 縄文 弥生	新富町 新田	東九州 自動車道建設	H13.11.2 ～11.28	3,500	戌亥 浩志 日高 敬子	旧石器～剥片 縄文～土器 弥生～土器
25	藤山 第1遺跡	縄文	新富町 新田	東九州 自動車道建設	H13.11.1 ～11.20	503	戌亥 浩志 日高 敬子	縄文～土器 集石遺構

発掘調査一覧

	遺跡名	所在地	主な時代	主な遺構	主な遺物	調査期間	調査担当者	調査面積(m ²)	調査原因
1	下耳切 第3遺跡	高鍋町 大字上江	縄文中期 ～晩期 古墳後期 ～古代	竪穴住居,土坑 平地式住居,古墳 地下式横穴墓 竪穴住居, 掘立柱建物	縄文土器(船元式) 石錘,石鏃,土師器 須恵器,鉄器 円面硯	H12.4.3 ～ H14.3.29	永田 和久 都成 量 今塩屋 毅行 高木 裕志 可児 直典	14,000	東九州 自動車道建設
2	北牛牧 第5遺跡	高鍋町 大字上江 字北牛牧	後期旧石器 縄文草創期 縄文早期	礫群,土坑 陥穴,ピット群	ナイフ形石器 剥片,土器,石鏃 剥片尖頭器等 水晶製剥片 有舌尖頭器等	H12.4.4 ～ H14.2.19	草薙 良雄 倉蘭 靖浩 栗山 正明 落合 賢一	18,000	東九州 自動車道建設
3	牧内 第1遺跡	高鍋町 大字上江 字牧内	後期旧石器 縄文草創期～ 早期	ピット群,土坑 陥穴	ナイフ形石器 細石刃核,剥片等 石鏃,スクレイパー 縄文土器	H13.4.3 ～ H14.3.29	松田 清孝 山下 健一 加藤 学 成相 景子	9,500	東九州 自動車道建設

	遺跡名	所在地	主な時代	主な遺構	主な遺物	調査期間	調査担当者	調査面積(m ²)	調査原因
4	牧内 第2遺跡	高鍋町 大字上江 字牧内	後期旧石器 縄文草創期～ 早期	散磔,ピット群	ナイフ形石器 細石刃,剥片 石鏃,縄文土器	H13. 8.20 ～ H14. 3.29	加藤 学 永山 博一 金丸 史絵	5,300	東九州 自動車道建設
5	野首 第1遺跡	高鍋町 大字上江 字野首	後期旧石器 縄文早期 古墳,近世	近世墓 近世屋敷跡	細石刃核, 縄文早期土器 陶磁器,須恵器	H14. 1.15 ～ H14. 3.29	堀田 孝博 安楽 哲史	1,600	東九州 自動車道建設
6	野首 第2遺跡	高鍋町 大字上江 字青木	後期旧石器 縄文草創期・ 早期・後期・ 晩期,弥生 古墳,古代	集石遺構,炉穴 竪穴住居 道路状遺構	石核,剥片,ナイフ 形石器,細石刃核, 石斧,石錘,ヒスイ 製垂飾,押型文土 器,土師器,須恵器 緑釉陶器 畿内系土器	H13. 5. 7 ～ H14. 3.29	尾関 賢二 松本 茂 落合 賢一	7,000	東九州 自動車道建設
7	唐木戸 第4遺跡	高鍋町 大字上江 字北唐木戸	後期旧石器 縄文草創期～ 早期・後期	磔群,集石遺構 炉穴	ナイフ形石器,石鏃 細石刃核 縄文後期土器	H13. 5. 7 ～ H13.12.27	永野 高行 藤木 聡	7,812	東九州 自動車道建設
8	唐木戸 第3遺跡	高鍋町 大字上江 字北唐木戸	旧石器後期 縄文早期	集石遺構	細石刃核,細石刃 ナイフ形石器,剥片 石鏃,縄文土器	H13.10. 1 ～ H14. 3.29	鶴戸 周成 山口 昇	2,900	東九州 自動車道建設
9	小並 第1遺跡	高鍋町 大字上江 字西小並	旧石器後期 縄文早期	磔群,集石遺構 土坑	剥片尖頭器,細石刃 核,剥片,ナイフ形 石器,縄文土器,石鏃	H13. 9. 3 ～ H14. 3.29	栗山 正明 長友 久昭 日高 敬子	7,700	東九州 自動車道建設
10	老瀬坂上 遺跡	高鍋町 大字上江 字北中原	後期旧石器 縄文早期・前 期・後期,弥生 中期,古代		細石刃核,縄文土器 磨製石鏃,石斧,石錘 弥生土器,須恵器	H13. 9. 3 ～ H14. 3.29	阿部 直人 吉富 俊文 安楽 哲史	6,600	東九州 自動車道建設
11	音明寺 第1遺跡	高鍋町 大字上江 字音明寺	後期旧石器 縄文早期	磔群,ピット群 陥穴,集石遺構 連結土坑 道状遺構 畝状遺構	細石刃核,剥片 ナイフ形石器等 縄文土器,石鏃	H13. 4. 4 ～ H13. 8. 7	戸高 幸作 渡部 誠一郎 外山 宏幸 金丸 史絵 安楽 哲史 工藤 基志	5,350	東九州 自動車道建設
12	東畦原 第1遺跡	新富町 大字新田 字下迫口	後期旧石器	散磔	剥片,石核,礫石	H13.11. 1 ～ H14. 3.29	外山 宏幸 大山 博志	5,800	東九州 自動車道建設
13	東畦原 第2遺跡	新富町 大字新田 字大中原	後期旧石器 縄文早期		三稜尖頭器 剥片,土器 ナイフ形石器	H13.11. 6 ～ H14. 3.29	倉蘭 靖浩 安藤 真二	4,000	東九州 自動車道建設
14	東畦原 第3遺跡	新富町 大字新田 字大中原	後期旧石器	磔群,ピット 土坑	ナイフ形石器 剥片等,石核 剥片尖頭器,石鏃	H13. 4. 4 ～ H14. 1.18	横田 通久 福松 東一 松尾 有年	1,100	東九州 自動車道建設
15	西畦原 第1遺跡	新富町 大字新田 字吐合	後期旧石器 縄文早期 弥生後期	磔群,集石遺構 竪穴住居 掘立柱建物	ナイフ形石器 剥片,細石刃 礫石	H12.11. 1 ～ H13. 7.31	南中道 隆 新町 芳伸 日高 敬子	2,700	東九州 自動車道建設
16	西畦原 第2遺跡	新富町 大字新田 字西畦原	後期旧石器 縄文早期	磔群,ピット群 土坑,陥穴 集石遺構	細石刃,剥片 石鏃,石核 ナイフ形石器	H13. 5. 7 ～ H14. 3.29	大村 公美恵 堀田 孝博 小宇都あずさ	7,620	東九州 自動車道建設

	遺跡名	所在地	主な時代	主な遺構	主な遺物	調査期間	調査担当者	調査面積(m ²)	調査原因
17	尾小原遺跡	新富町 大字新田 字尾小原	後期旧石器 縄文早期	礫群,陥穴 集石遺構	剥片,細石刃,石鏃 ナイフ形石器	H13.11.1 ~ H14.3.29	新町 芳伸 原田 茂樹	5,500	東九州 自動車道建設
18	向原 第1遺跡	新富町 大字新田 字綿打	後期旧石器 縄文早期 弥生	礫群,竪穴住居 ピット,土坑	剥片,石器 縄文土器 弥生土器	H14.3.11 ~ H14.3.29	戌亥 浩志 日高 敬子	2,700	東九州 自動車道建設
19	前ノ田村上 第1遺跡	川南町 大字川南 字須田久保	古代~中世	ピット群 溝状遺構 掘立柱建物	青磁,土師器 須恵器,常滑焼 白磁	H13.12.13 ~ H14.3.29	渡部 誠一郎 河野 康男	6,100	東九州 自動車道建設
20	湯牟田遺跡	川南町 大字川南 字湯牟田	後期旧石器 弥生	道路状遺構	ナイフ形石器 剥片,石包丁	H13.12.10 ~ H14.3.29	都成 量 山下 健一	3,700	東九州 自動車道建設
21	桑ノ木遺跡	串間市 大字桑ノ木	中世	掘立柱建物	中世土師器	H13.11.26 ~ H14.2.13	杉田 康宏 重留 康宏	800	串間警察署 郡元職員宿舍 新築工事
22	八幡遺跡 (2次)	都城市 八幡町 2街区	近世	建物跡,道路状遺 構,土壇,ピット 井戸	肥前系磁器,薩摩系 陶器,中国製青花皿 瓦,銭貨他	H13.4.19 ~ H13.7.30	南正覚 雅士 重留 康宏 古屋 美樹	1,200	都城裁判所 合同庁舎建設
23	池島遺跡	都城市 早水町	縄文早期・前期 弥生,中世	集石遺構,溝状遺 構,柱穴,貯蔵穴 竪穴住居	縄文早期・前期土 器,石鏃,弥生土器 石包丁,土師器,青 磁,白磁,緑釉陶器	H13.9.12 ~ H14.1.31	柳田 宏一 柳田 晴子	3,400	県営早水団地 建替事業
24	豊満大谷 遺跡	都城市 豊満町 字大谷	縄文~中世	溝状遺構 竪穴住居 掘立柱建物 集石状遺構 井戸状遺構,炉 畦状遺構,区画溝	縄文土器,石鏃 剥片,磨石, 打製石斧,坏 布痕土器,弥生土器 土師器	H13.7.25 ~ H13.10.9	玉利 勇二 工藤 基志	1,100	農用地総合整 備事業「都城 区域」農業用 道路建設
25	野添遺跡	都城市 安久町 字前畑	縄文後期 古墳,中世	竪穴住居,土坑 土壇墓,道路状遺構	縄文後期土器 剥片,管玉 勾玉,土師器	H13.11.13 ~ H14.2.15	玉利 勇二 永友 良典	1,500	農用地総合整 備事業「都城 区域」農業用 道路建設
26	宇都 第3遺跡	三股町 大字宮村	弥生~中世	道路状遺構 溝状遺構 土坑	甕,布痕土器 黒色土器,土師器坏 須恵器坏,甕 須恵器壺,土鏃 紡錘車,備前捕鉢	H14.1.21 ~ H14.3.20	福田 泰典 柳田 晴子	600	農用地総合整 備事業「都城 区域」農業用 道路建設
27	屋敷遺跡	高岡町 大字花見	縄文早期 古代~近世	集石遺構 溝状遺構 ピット	縄文土器(塞ノ神 式・三万田式) 布痕土器,土師器 須恵器,青磁,白磁	H13.5.15 ~ H13.9.4	橋本 英俊 玉利 勇二 柳田 晴子	3,788	国道10号 花見バイパス 建設
28	瓜生野村 古墳30号	宮崎市 大字上北方 字瀬戸前	古墳	横穴墓	直刀,刀子 耳環,土師坏 須恵器(蓋身) 甕,横瓶	H13.4.17 ~ H13.12.17	福田 泰典 杉田 康之 田中 光 工藤 基志 古屋 美樹	20	主要地方道 宮崎西環状線 道路改築
29	吉野遺跡	延岡市 吉野町	旧石器,縄文	礫群,散石,炉穴 集石遺構 平地住居	石鏃,三稜尖頭器 ナイフ形石器 縄文早期土器	H13.4.26 ~ H13.8.24	日高 広人 田中 光 丹 俊詞	950	延岡道路建設

	遺跡名	所在地	主な時代	主な遺構	主な遺物	調査期間	調査担当者	調査面積(m ²)	調査原因
30	山口遺跡	延岡市 小川町 字山口	古墳～中世	(調査中)	土師器 陶磁器	H14. 2.18 ～ H14. 3.19	田中 光 橋本 英俊	2,000	延岡北方道路 建設
31	右葛ヶ迫 遺跡	宮崎市 大字折生迫 字倉元	古墳, 近世	住居跡, 溝? (自然流路)	土師器 陶磁器	H13.12.10 ～ H14. 1.28	橋本 英俊 田中 光	900	国道220号 青島バイパス 建設
32	上ノ原 第1遺跡	宮崎市 山崎町	古墳, 中世	古墳周溝(楯6号墳 の一部, 消滅古墳 の一部), 住居跡, 土坑, 土壙墓	土師器, 須恵器 鉄鏃, 洪武通宝 馬具, 刀子, 玉 太刀, 銅鏡 滑石製勾玉, 小玉 管玉, 人骨の一部 馬の歯	H13. 8. 1 ～ H14. 2.28	南正覚 雅士 杉田 康之 丹 俊詞	7,100	主要地方道 宮崎島之内線 ふるさと県道 整備事業
33	下那珂遺跡 (2次)	佐土原町 大字下那珂 字峯前	縄文, 弥生 古代	炬穴, 竪穴住居	縄文土器, 削器 石包丁, 須恵器 弥生土器, 磨製石鏃 ミニチュア土器	H13. 8.16 ～ H14. 2.28	甲斐 貴充 田中 光 古屋 美樹	5,700	総合農業試験 場本場果樹園 造成工事事業
34	大郎遺跡	高千穂町 大字田原 字上田原	縄文, 弥生	竪穴住居, 土坑	縄文土器, 石鏃 弥生土器, 砥石 打製石斧, 異形石器 土師器	H13. 8.22 ～ H13.10.26	福田 泰典 重留 康宏	3,400	国道320号 国道改築事業
35	町の平 3号横穴 (1次)	高千穂町 大字上野	古墳	横穴墓		H13. 6. 1 ～ H13.11.13	杉田 康之 工藤 基志	3	急傾斜地崩壊 対策町の平地 区

(2) 発掘調査に伴う調査指導及び職員の資料調査

慎重な調査を要する遺跡の調査にあたって、調査方法等の指導を受けるため各分野の専門の研究者を招聘した。また、はっきりしない遺物や考古学以外の分析を必要とする遺物について職員を派遣し指導を受けた。

調査指導

所属・氏名	指導内容	場 所	日 程
鹿児島県立埋蔵文化財センター 文化財主事 宮田栄二	東九州自動車道関連調査指導 (旧石器)	西畦原第2遺跡 牧内第1遺跡	H13. 4.24 ～ 4.25
鹿児島県立博物館 学芸主事 成尾英仁	東九州自動車道関連調査指導 (火山灰)	埋蔵文化財センター 唐木戸第4遺跡	H13. 7. 9
熊本大学文学部 助教授 小畑弘己	東九州自動車道関連調査指導 (旧石器)	埋蔵文化財センター 唐木戸第4遺跡 埋蔵文化財センター 東畦原第1遺跡	H13.10.8 ～ 10.9 H14. 3.19 ～ 3.20
奈良大学文学部 教授 泉 拓良	東九州自動車道関連調査指導 (縄文)	埋蔵文化財センター 下耳切第3遺跡 埋蔵文化財センター 野首第2遺跡	H13.10.8 ～ 10.9 H14. 3.21 ～ 3.22

調査指導

所属・氏名	指導内容	場 所	日 程
鹿児島大学法文学部 助教授 本田道輝	東九州自動車道関連調査指導 (縄文)	埋蔵文化財センター 下耳切第3遺跡 埋蔵文化財センター 小並第1遺跡	H13.10.8 ～10.9 H14. 3.21 ～ 3.22
愛媛大学法文学部 教 授 田崎博之	東九州自動車道関連調査指導 (弥生)	埋蔵文化財センター 野首第2遺跡 埋蔵文化財センター 下耳切第3遺跡	H13.10.8 ～10.9 H14. 3.19 ～ 3.20
宮崎大学教育文化学部 教 授 柳沢一男	東九州自動車道関連調査指導 (古墳)	下耳切第3遺跡 埋蔵文化財センター 下耳切第3遺跡 埋蔵文化財センター 前ノ田村上第1遺跡	H13. 6.22 H13.10.8 ～10.9 H14. 3.24 ～ 3.25
奈良女子大学文学部 教 授 広瀬和雄	東九州自動車道関連調査指導 (弥生～古代)	埋蔵文化財センター 下耳切第3遺跡 埋蔵文化財センター 湯牟田遺跡	H13.10.8 ～10.9 H14. 3.24 ～ 3.25
奈良文化財研究所 専門職員 牛嶋 茂	東九州自動車道関連調査指導 (遺構・遺物撮影)	埋蔵文化財センター 下耳切第3遺跡	H13.11.26 ～11.28
熊本大学 助教授 杉井 健	下那珂遺跡関連調査指導 (古墳)	下那珂遺跡	H13.11.22 ～11.23
鹿児島県立埋蔵文化財センター 文化財主事 東 和幸	東九州自動車道関連調査指導 (縄文中期)	下耳切第3遺跡 野首第2遺跡	H13.12.17 ～12.18

資料調査等

目 的	出 張 先	日 程	出 張 者
東九州自動車関連発掘調査に伴う資料 調査 (旧石器・縄文) 唐木戸第4遺跡	鹿児島県種子島三角山遺跡 鬼ヶ野遺跡	H13.10.11～12	永野 高行 藤木 聡 金丸 史絵
東九州自動車関連発掘調査に伴う資料 調査 (縄文・古代) 下耳切第3遺跡	倉敷考古館 橿原考古学研究所	H13.10.24～26	永田 和久 高木 祐志 可児 直典
東九州自動車関連発掘調査 (西都～清 武間) に伴う資料調査	奈良女子大学	H13.10.27～28	日高 広人
東九州自動車関連発掘調査に伴う資料 調査 (旧石器・近世) 唐木戸第3遺跡	熊本城発掘現場 熊本市立博物館 山鹿市立博物館	H14. 1. 18～20	鶴戸 周成 山口 昇 加藤 学
東九州自動車関連発掘調査に伴う資料 調査 (旧石器) 東畦原第3遺跡	鹿児島県埋蔵文化財センター 瀬戸頭B遺跡 熊本県装飾博物館	H14. 1. 19～21	横田 通久 福松 東一 松尾 有年
東九州自動車関連発掘調査に伴う資料 調査 (縄文) 音明寺1・湯牟田遺跡	高知県埋蔵文化財センター 高知県歴史民俗資料館 松ノ木遺跡・西分増井遺跡	H14. 1. 28～30	面高 哲郎 戸高 幸作 都成 量

目 的	出 張 先	日 程	出 張 者
東九州自動車関連発掘調査に伴う資料調査(弥生)西畦原第1遺跡	松山市生涯学習振興財団埋蔵文化財センター、西石井遺跡 愛媛大学埋蔵文化財調査室	H14. 2.4～ 6	南中道 隆 新町 芳伸 日高 敬子
東九州自動車関連発掘調査に伴う資料調査(弥生)老瀬坂上遺跡、尾小原遺跡	大阪府立弥生文化博物館	H14. 1.26～27	谷口 武範 藤木 聡
東九州自動車関連発掘調査に伴う資料調査(旧石器)野首第2遺跡、牧内第1遺跡	静岡県立埋蔵文化財調査研究所 富坂遺跡	H14. 2.12～14	松田 清孝 松本 茂 成相 景子
東九州自動車関連発掘調査に伴う資料調査(古墳)野首第2遺跡、下耳切第3遺跡	東京都埋蔵文化財センター 群馬県埋蔵文化財センター 大上遺跡、下田遺跡	H14. 2.12～14	長津 宗重 山田 洋一郎 下西 武志
一般国道10号延岡道路建設に伴う資料調査 吉野遺跡	東京都埋蔵文化財センター 東京文化財研究所	H13.11.15～16	永友 良典
一般国道10号延岡道路建設に伴う資料調査 吉野遺跡	鹿児島大学、鹿児島県立博物館 鹿児島県立博物館考古資料館 鹿児島県黎明館	H13.8.3～4	丹 俊詞
総合農業試験場本場果樹園造成工事に伴う下那珂遺跡資料調査	鹿児島大学、鹿児島県立博物館 鹿児島県立博物館考古資料館 鹿児島県黎明館	H13.8.3～4	重留 康宏
総合農業試験場本場果樹園造成工事に伴う下那珂遺跡資料調査	大阪府立弥生文化博物館	H14.1.26～27	甲斐 貴充
野添遺跡発掘調査に伴う資料調査	大分県教育庁文化課 大分市教育庁文化課文化財資料室 横尾遺跡、大友府内町跡 大友氏館跡	H14. 3.18～19	岩永 哲夫 玉利 勇二
埋蔵文化財センターの施設管理及び遺跡の保存・整備に関する資料調査	福岡市埋蔵文化財センター 福岡市博物館、板付資料館 吉野ヶ里歴史公園	H14.3.27～28	杉田 康之 古屋 美樹

(3) 出土遺物等整理及び発掘調査報告書の刊行

埋蔵文化センターでは、発掘調査で出土した遺物等の水洗、注記から実測、製図までの整理を行い、発掘調査報告書を作成している。平成13年度に整理を実施した遺跡は34遺跡で、内訳は東九州自動車道関係及び青島バイパス等国、公団、公社からの受託事業が22遺跡、県土木事務所関係6遺跡、県農政水産部関係4遺跡、県教育委員会関係1遺跡、市町村事業1遺跡である。

そのうち整理作業を終了した23遺跡については発掘調査報告書を刊行し、東九州自動車道建設(都農～西都間)関連の18遺跡については概要報告を刊行した。

出土遺物等整理実施遺跡一覧

遺 跡 名	事 業 名	事 業 者
上ノ原第1遺跡・白ヶ野遺跡・本城跡・迫内遺跡 長蘭原遺跡・下屋敷遺跡 上ノ原遺跡・別府原 西ヶ迫遺跡	東九州自動車道(西都～清武間)建設	日本道路公団九州支社

出土遺物等整理実施遺跡一覧

遺跡名	事業名	事業者
藤山第2遺跡・西畦原第1遺跡・東畦原第3遺跡 音明寺第1遺跡・北牛牧第5遺跡	東九州自動車道（都農～西都間）建設	日本道路公団九州支社
吉野遺跡・林遺跡	一般国道10号延岡道路建設	国土交通省延岡工事事務所
屋敷遺跡	一般国道10号花見バイパス建設	国土交通省宮崎工事事務所
八幡遺跡	都城裁判所合同庁舎建設	国土交通省鹿児島営繕工事事務所
鶴尾遺跡・嫁坂遺跡 大岩田上村遺跡	農用地総合整備事業「都城区域」農業用道路建設	緑資源公団九州支社都城建設事務所
藏座村遺跡	国営尾鈴農業水利事業 銀座2号ファームポンド建設	農水省九州農政局尾鈴農業水利事務所
西都原古墳群	特別史跡西都原古墳群保存整備事業	宮崎県教育庁文化課
速日峰地区遺跡	県営ほ場整備事業	北方町教育委員会
下那珂遺跡	県総合農業試験場造成工事	宮崎県農政水産部農政企画課
野首第1遺跡	県道木城高鍋線改良工事	宮崎県土木部西都土木事務所
祇園原遺跡・春日遺跡	県道木城西都線改良工事	宮崎県土木部高鍋土木事務所
上日置遺跡	県道日置南高鍋線改良工事	宮崎県土木部高鍋土木事務所
上ノ原第1遺跡	県道宮崎島ノ内線改良工事	宮崎県土木部宮崎土木事務所
古城遺跡・大野原遺跡 五ヶ村遺跡	広域営農団地農道整備事業「西臼杵2期」	宮崎県総務部西臼杵支庁
笹の都遺跡	主要地方道緒方高千穂線緊急地方道路整備事業	宮崎県総務部西臼杵支庁

発掘調査報告書刊行一覧

巻号	報告書名	サブタイトル	執筆者
1 発掘調査報告書 第50集	南学原第1遺跡 南学原第2遺跡	一般県道福王寺佐土原線道路改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	山田 洋一郎 日高 広人
2 発掘調査報告書 第51集	内城跡	一般国道219号道路改築事業（春日バイパス）に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	福田 泰典 松本 茂
3 発掘調査報告書 第52集	白ヶ野第2遺跡 白ヶ野第3遺跡	東九州自動車道（西都～清武間）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅰ	吉本 正典 青山 尚友 藤木 聡
4 発掘調査報告書 第53集	藏座村遺跡	国営農業水利事業尾鈴銀座2号ファームポンド建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	甲斐 貴充

	巻 号	報告書名	サブタイトル	執筆者	
	5	発掘調査報告書 第54集	柿迫遺跡 龍泉寺遺跡	倉岡ニュータウン土地区画整理事業に伴う 発掘調査報告書	福松 東一 高橋 浩子 大村 公美恵
	6	発掘調査報告書 第55集	枯木ヶ迫遺跡	希望ヶ丘西土地区画整理事業に伴う 埋蔵文化財発掘調査報告書(2)	高橋 浩子 重山 郁子
	7	発掘調査報告書 第56集	下屋敷遺跡	東九州自動車道(西都～清武間)建設に伴う 埋蔵文化財発掘調査報告書XII	長津 宗重 山田 洋一郎 吉牟田 浩一
	8	発掘調査報告書 第57集	長藪原遺跡	東九州自動車道(西都～清武間)建設に伴う 埋蔵文化財発掘調査報告書XIII	長津 宗重 時任 和守 山田 洋一郎
	9	発掘調査報告書 第58集	上ノ原遺跡	東九州自動車道(西都～清武間)建設に伴う 埋蔵文化財発掘調査報告書XIV	長津 宗重 谷口 武範 日高 裕司 木本 剛
	10	発掘調査報告書 第59集	迫内遺跡	東九州自動車道(西都～清武間)建設に伴う 埋蔵文化財発掘調査報告書XV	小山 博
	11	発掘調査報告書 第60集	本城跡	東九州自動車道(西都～清武間)建設に伴う 埋蔵文化財発掘調査報告書XVI	橋本 英俊
	12	発掘調査報告書 第61集	別府原・西ヶ迫・別 府原第2遺跡	東九州自動車道(西都～清武間)建設に伴う 埋蔵文化財発掘調査報告書XVII	日高 広人
	13	発掘調査報告書 第62集	白ヶ野第2・第3遺 跡, 上ノ原第1遺跡 (B地区)	東九州自動車道(西都～清武間)建設に伴う 埋蔵文化財発掘調査報告書XVIII	面高 哲郎 青山 尚友 谷口 武範 藤木 聡
	14	発掘調査報告書 第63集	母智丘谷・畑田・嫁 坂遺跡	農用地総合整備事業「都城区域」農業用道路建 設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書(2)	甲斐 貴充 高橋 誠 永友 良典
	15	発掘調査報告書 第64集	前ノ田村上第1、湯 牟田、野首第2、老 瀬坂上、下耳切第3、 北牛牧第5、唐木戸 第3、唐木戸第4、 小並第1、牧内第1、 牧内第2、東畦原第 1、東畦原第2、東 畦原第3、西畦原第 1、西畦原第2、尾 小原、竹鳩(だけく) 遺跡	平成13年度東九州自動車道(都農～西都間) 関係埋蔵文化財発掘調査概要報告書II	吉本 正典 ほか

(4) 保存処理

保存処理室では、鉄製品や木製品を保存処理している。宮崎県は、地下式横穴墓から多量の鉄製品が良好な状態で出土するため、年次的に鉄製品保存処理関係機器を整備してきた。木製品については、PEG含浸装置等が未設置であるため、委託あるいはバキュームシーラーでのパッキング等で対応している。また、市町村教育委員会からの備品の利用や保存処理の依頼についても受け入れている。

保存処理・調査研究関係備品一覧

設置場所	機器名	製品名(規格)	製造会社名	購入年	備考
鉄器 保存処理室	送風定温乾燥機	DN-61型	ヤマト科学	1983	漏電 ブレーカー
	定温乾燥機	DN-94型	ヤマト科学	1992	
	鉄器樹脂含浸装置	300×1200		1983	
	精密噴射加工機			1983	
	精密噴射加工機	バリープラスト50N	トーワ技研	1992	
	小型グラインダー	ミニタースタANDARD	関東機器	1993	
	軟X線装置	ソフテックス SPC-1501	ソフテックス	1991	TVシステム
	小型空気圧縮機		日立製作所	1983	
	ドラフト チャンバー	CSF-K15	島津理化	1992	
木器 保存処理室	脱塩洗浄処理装置		滝口製作所	1992	
一次処理室	超音波洗浄器	5200J4	シャープ	1991	SQドレン付
	卓上バキューム シーラー	SQ-202	サララップ販売	1991	写真撮影装置付
復元整理室	実体顕微鏡	SMZ-2T	ニコン	1991	
写 場	赤外線TVカメラ	IRRS-100	浜松ホトニクス	1992	

(5) 収蔵整理

報告書作成が終了した遺跡の遺物、図面、写真などを適切に管理し一般に公開するため、収蔵整理を実施している。また、全国から寄贈された発掘調査報告書や購入図書、雑誌等についても台帳を作成し図書室に配置している。これらの資料類を関連づけて検索できるデータベースの構築が今後の課題となっている。

a. 発掘調査資料

平成13年度までにセンターに収蔵された資料はコンテナ数で累計10,515箱で、13年度分は21遺跡 506箱である。報告書作成が終了した遺跡から順次登録台帳を作成しているが、台帳の作成は遺物、遺物実測図、遺構実測図、写真、コンテナ、収蔵棚の項目を設け各々に番号を付し、必要な資料について検索できるようにしている。

平成13年度現在、台帳に登録した遺物は113遺跡コンテナ数で3,163箱、13年度分は8遺跡227箱である。遺物実測図については103遺跡、遺構実測図については88遺跡分の整理が終了した。遺物はコンテナ収蔵を基本とし、コンテナ外面に遺物登録番号、コンテナ番号、棚番号等を表示している。

平成13年度収蔵整理実施遺跡一覧

	遺跡名	所在地		遺跡名	所在地
1	右葛ヶ迫遺跡	宮崎市	2	広木野遺跡	五ヶ瀬町
3	南平第3遺跡	高千穂町	4	南平第4遺跡	高千穂町
5	中ノ原遺跡	高千穂町	6	石用遺跡	宮崎市
7	友尻遺跡	宮崎市	8	鳥ノ子遺跡	宮崎市

b. 図書資料

全国から送られてくる発掘調査等の報告書や購人書籍・雑誌類を図書室に集架している。平成13年度は2,574冊の受け入れがあり、累計収蔵数は36,671冊になる。図書類はパソコンによるデータベース登録を実施している。

2 教育普及活動

センター展示部門では、神宮分館展示コーナーにおいて常設展示およびコーナー展示をおこなっており、あわせて遺物整理作業を見学できるようにもなっている。「コーナー展」は年2回開催し最新の発掘成果を速報的に展示した。また、毎月第4土曜日には神宮分館研修室を中心に埋蔵文化財講座「遺跡をたずねて」を開催した。11月の文化財保護強調週間には第2回みやぎ文化フェスティバル（県立芸術劇場・県立美術館・県立図書館・県総合博物館・埋蔵文化財センターの5館が参加）の事業の一環として神宮分館で「施設公開」を実施した。また、東九州自動車道関連遺跡発掘調査成果を展示公開した。

(1) 展示

・常設展示

埋蔵文化財の保護と宮崎の歴史

文化財保護法と発掘調査の流れに関する解説

・コーナー展

展示テーマ	展示期間	展示内容
発掘調査速報展1 (宮崎市内の低湿地遺跡)	H13. 4.19 ～ H13.10.8	町屋敷遺跡(宮崎市)、内宮田遺跡(宮崎市)、本城原遺跡(野尻町)、下耳切遺跡(高鍋町)、下那珂遺跡(佐土原町)の出土遺物等の展示および調査成果の紹介
発掘調査速報展2 (国富町を中心とした台地上の遺跡)	H13.10.12 ～ H14. 4.14	塚原遺跡(国富町)、木脇遺跡(国富町)、下耳切遺跡(高鍋町)、下那珂遺跡(佐土原町)の出土遺物等の展示および調査成果の紹介

(2) 埋蔵文化財講座「遺跡をたずねて」

毎月第4土曜日の午後1時30分から3時まで講座を実施している。講師は県文化課、県内市町村専門職員、埋蔵文化財センター職員等がつとめ、平成13年度は「最近の発掘調査の成果から」という年間テーマのもと12回の講座を開講した。

埋文講座年間計画

	開催日	遺跡名(市町村名)	講 師	受講者
1	H13. 4.28	本城原遺跡(野尻町)	宮崎県埋蔵文化財センター 福田 泰典	45
2	H13. 5.26	榑粉山遺跡(高原町)	高原町教育委員会 大學 康宏	29
3	H13. 6.23	沖ノ田遺跡(宮崎市)	宮崎県埋蔵文化財センター 橋本 英俊	23
4	H13. 7.28	平成12年度発掘調査速報	次項参照	122
5	H13. 8.25	町屋敷遺跡(宮崎市)	県総合博物館 崎田 一郎	28
6	H13. 9.22	王子原遺跡(都城市)	宮崎県労働政策課 高橋 誠	29
7	H13.10.27	野首第1遺跡(高鍋町)	宮崎県埋蔵文化財センター 藤木 聡	28
8	H13.11.24	木脇遺跡(国富町)	みやざき歴史文化館 倉永 英季	32
9	H13.12.22	音明寺第2遺跡(新富町)	宮崎県埋蔵文化財センター 山口 昇	32
10	H14. 1.26	塚原遺跡(国富町)	宮崎県埋蔵文化財センター 面高 哲朗	21
11	H14. 2.23	鶴尾地区遺跡(都城市)	宮崎県埋蔵文化財センター 福田 泰典	20
12	H14. 3.23	吉野遺跡(延岡市)	宮崎県埋蔵文化財センター 日高 広人	16

場所：神宮分館1階研修室（7月のみ県民文化ホール）

・発掘調査速報

7月の講座は速報として28日に県総合博物館県民文化ホールにおいて開催した。

平成12年度発掘調査概要報告

発掘調査事例報告

坂元・馬渡A遺跡(都城市)	都城市教育委員会	栞畑 光博
東川北地区遺跡群(えびの市)	えびの市教育委員会	東 真一
下那珂遺跡(佐土原町)	宮崎県埋蔵文化財センター	甲斐 貴充
下耳切第3遺跡(高鍋町)	宮崎県埋蔵文化財センター	今塩屋 毅

(3) 施設公開

毎年、11月の文化財保護強調週間には神宮分館で「施設公開」を実施しているが、今年は第2回みやざき文化フェスティバル（県立芸術劇場・県立美術館・県立図書館・県総合博物館・県埋蔵文化財センターの5館の共同開催）の事業の一環として11月3日～4日の2日間実施した。

開催日	内 容	参加者数
H13.11.3 (土) ～ 11.4 (日)	<ul style="list-style-type: none"> ・整理作業の実演（土器片洗浄、土器や石器の実測実演、ニシオグラフによる実演） ・実体顕微鏡で火山灰や土器に含まれている鉱物を見る。 ・赤外線TVで土器に書かれた文字を見る。 ・軟X線装置で錆に覆われた鉄器や鏡などを観察する。 ・体験作業 <ul style="list-style-type: none"> 土器の模様を墨で紙に写し取る（拓本） 壊れた土器を復元する（復元） 押型文や貝殻文を復元する。（施文） 粘土で土器を作る 石器で遊ぶ ・復元した土器の展示 ・平成12年度刊行の報告書の閲覧 ・ビデオ上映 「名探偵コナン 縄文体験やってみよう」ほか 	565名

(4) 埋蔵文化財専門職員研修会

埋蔵文化財センターでは、発掘調査技術等の向上をめざし、県及び市町村埋蔵文化財担当専門職員を対象とした研修を実施している。

内 容	場 所	日 程	参加者数
埋蔵文化財担当職員研修会 「遺物実測のノウハウ 石器編」 〔1日目〕 講義・解説 実技研修「石器実測」 〔2日目〕 講義 実技研修「石器実測」事例報告	宮崎県埋蔵文化財センター 本館	H13. 9.6 ～7	市町村担当者 25名
埋蔵文化財担当職員研修会 「遺跡の保存と整備」 事例報告 緒方 博文(日向市教育委員会) 事例報告 有馬 義人(新富町教育委員会) 事例報告 稲岡 洋道(宮崎市教育委員会) 事例報告 中村真由美(小林市教育委員会) 事例報告 代田 博文(南郷町教育委員会) 石器製作研修	宮崎県埋蔵文化財センター 本館	H14. 2.15	市町村担当者 20名

(5) 現地説明会・調査成果報告会

平成13年度は説明会を6現場で実施した。

	遺 跡 名	所在地	期 日	参加者数	対象範囲	事業内容
1	下耳切第3遺跡	高鍋町	H13. 7.14 (土)	262名	県下全域	東九州自動車道
2	太郎遺跡	高千穂町	H13.10.15 (月)	19名	地域住民	国道325号改築
3	野首第2遺跡	高鍋町	H13.12. 8 (土)	119名	高鍋町内	東九州自動車道

	遺跡名	所在地	期 日	参加者数	対象範囲	事業内容
4	下耳切第3遺跡	高鍋町	H14. 2. 9 (土)	254名	県下全域	東九州自動車道
5	野添遺跡	都城市	H14. 2.10 (日)	130名	地域住民	農用地総合整備事業
6	宇都第3遺跡	三股町	H14. 3.13 (水)	21名	地域住民	農用地総合整備事業
7	豊満大谷遺跡	都城市	H14. 1.10(木)~12(土)	発掘調査終了後、地区文化祭で展示	中郷地区	農用地総合整備事業
計 805名						

発掘調査現場見学

	遺跡名	所在地	期 日	学校名・学年・人数	事業内容
1	野首第2遺跡	高鍋町	H13. 7. 27 (金)	宮崎市立生目小学校親子会 9名	東九州自動車道
2			H13.11. 16 (金)	高鍋町立高鍋西小学校 6年 26名	
3	前ノ田村上第1遺跡	川南町	H13.10. 29 (木)	川南町立多賀小学校 6年 20名	
4	桑ノ木遺跡	串間市	H13.12. 20 (木)	串間市立福島小学校 4年 30名	警察宿舎建設
5	西畦原第2遺跡	新富町	H14. 2. 13 (水)	新富町立上新田小学校 6年 33名	東九州自動車道
6			H14. 3. 11 (月)	新富町立上新田中学校 3年 47名	
計165名					

(6) 広報出版物

埋蔵文化財保護啓発活動の一環として埋蔵文化財センターの「事業案内」の発行や埋蔵文化財講座、施設公開等についてもポスターやパンフレットの作成をおこなった。

	刊 行 物 名	発行年月
1	平成13年度埋蔵文化財講座 第4回「平成12年度速報」チラシ及びポスター	H13. 7
2	宮崎県発掘調査情報 第26号	H13. 8
3	宮崎県埋蔵文化財センター年報 第6号	H13. 9
4	宮崎県発掘調査情報 第27号	H13. 10
5	平成14年度宮崎県埋蔵文化財センター「事業案内」	H14. 3
6	宮崎県発掘調査情報 第28号	H14. 3

(7) 資料等の提供

埋蔵文化財センターでは、一般や公共機関、研究機関、研究者の利用希望に応じて、可能な限り資料を提供している。資料提供には館内利用（資料の閲覧・実測等）と館外貸出及び掲載許可があり、平成13年度には館内利用が23件、館外貸出が2件、掲載許可が4件であった。

館内利用

資 料 名	利 用 者	利 用 目 的	利用日
神殿遺跡出土縄文土器	大分県文化課 遠部 慎	報告書作成	H13. 5. 2
前原北、前原南、上の原第3、上別府、 荒迫遺跡出土遺物	志布志町教育委員会 2名	志布志町内出土遺物との 比較	H13. 6. 5
妙見、保木下、杉木原、上の原1、 右葛ヶ迫遺跡出土遺物	大分県文化課 遠部 慎	資料収集	H13. 8. 4
上の原第2遺跡出土遺物	高岡町教育委員会 松本 安紀彦	資料収集	H13. 8. 4
えびの市埋蔵文化財調査報告書 第1集他6点	鹿児島大学学生 津曲 千賀子	卒業論文資料収集	H13. 8. 7
木脇、堂地、赤木遺跡出土遺物	岡山大学学生 黒木 陽介	卒業論文資料収集	H13. 8.17
野首第1、上ノ原、矢野原、吉野、別府 原、音明寺第2遺跡出土石器	東京大学大学院生 阿部 敬	修士論文作成	H13. 8.15 ～ 8.16
「宮崎の遺跡展」図録	熊野神社宮司 川副 俊男	木花地区の文化財学習	H13. 8.28
木脇、堂地西、赤木遺跡出土旧石器	岡山大学大学院生 西田 和浩	修士論文作成	H13. 9. 3
立切地下式横穴墓群、小木原地下式横穴 墓群、築池地下式横穴墓群出土鉄製品	東京国立博物館 松浦 有一郎 古谷 毅	「日本出土原始古代織 維製品の集成及び基礎 的研究」に関する資料 調査	H13. 8. 2 ～ 8. 5
多宝寺、竹之下、右葛ヶ迫遺跡出土遺物	鹿児島大学学生 鎌田 浩平	遺物の実測・写真撮影	H13.10.16
塚原、王子原遺跡出土土器	山口大学教授 中村 友博	縄文時代終末・弥生時 代初頭の土器研究	H13.11. 5
右葛ヶ迫、竹ノ内、門川南町、田代ヶ八 重遺跡出土縄文時代遺物及び宮崎県内出 土の磨消縄文土器	大分県天ヶ瀬町教育委 員会 今田 秀樹 京都大学埋蔵文化財研 究センター 千葉 豊	学術研究	H13.11.10 ～11.11
堂地西、妙見、内野敷、木脇、塚原遺跡 出土縄文早期土器	九州大学学生 板倉 有太	卒業論文作成	H13.11. 8
唐木戸第4、牧内第1、牧内第2、 西畦原遺跡出土旧石器	鹿児島県立 埋蔵文化財センター 中原 一成 桑波田武志 松元 信光	資料収集	H13.11.28

館内利用

資料名	利用者	利用目的	利用日
蔵田、矢野原、上ノ迫、長蘭原遺跡出土旧石器	熊本大学学生 宮本 千恵子	卒業論文作成	H13.11.19
白ヶ野遺跡出土縄文早期土器	財団法人 元興寺文化財研究所 角南 聡一郎	資料収集	H13.12. 4
高鍋城跡、高鍋城下、高岡麓、林、石用、樺山・郡元、鶴野内中水流、浦田、堂地東、前原北、学頭、餅田、天神河内第1遺跡出土近世陶磁器	鹿児島大学助教授 渡辺 芳郎	学術研究	H13.12. 9 ～12.10
野首第2遺跡、下耳切遺跡出土遺物	大分県文化課 高橋 信武	資料収集	H14. 1. 9
神殿遺跡出土縄文晩期土器	長野県庁 中沢 道彦	資料閲覧	H14. 1.18
野首第1、唐木戸、矢野原、笹の都、下屋敷遺跡出土旧石器	神奈川県 砂田 佳弘	資料閲覧	H14. 1.21
竹ノ内遺跡他出土縄文後期土器	新潟県埋蔵文化財センター 西田 泰	資料閲覧	H14. 1.28
上の原第2遺跡他出土肥前産近世陶磁器	佐賀県塩田町教育委員会 峯崎 幸清	資料閲覧	H14. 3.26
赤木遺跡出土旧石器	高知県中村市 木村 剛朗	資料閲覧	H14. 3.28

館外貸出

貸出資料名	数量	目的	期間	貸出機関名
王子原遺跡出土遺物 組織痕土器片	7点	富沢遺跡保存館主催による特別展「続・縄文の衣」展示	H13. 5.21	仙台市 富沢遺跡保存館
右葛ヶ迫遺跡出土遺物 組織痕土器片	3点		H13.10. 2	
余り田遺跡出土 墨書土器	5点	国立歴史民族博物館主催 平成14年特別展（巡回展） 「古代日本 文字のある風景－ 金印から正倉院文書まで－」の 展示用写真撮影	H14. 2.14	宮崎県総合博物館

刊行物掲載（写真提供）

資料名	掲載刊行物	依頼者	申請日
都城市王子原遺跡出土組織痕土器片 宮崎市右葛ヶ迫遺跡出土組織痕土器片	特別展「続・縄文の衣」図録	仙台市富沢遺跡保存館	H13. 5. 3
都城市王子原遺跡出土組織痕土器片 宮崎市右葛ヶ迫遺跡出土組織痕土器片	尾関清子著「続・縄文の衣」 （仙台創童社）	東海学園女子短期大学 尾関 清子	H13. 6. 7
宮崎市平畑遺跡縄文住居 都城市大島畠田遺跡大型掘立柱建物跡	宮崎県小学校社会科副読本	宮崎教育事務所	H13.12.14

資料名	掲載刊行物	依頼者	申請日
宮崎市余り田遺跡出土 墨書土器	14年特別展「古代日本 文字のある風景—金印から正倉院文書まで—」用展示会図録	宮崎県総合博物館	H14. 2.14
都城市大島畠田遺跡 全景	福岡市埋蔵文化財センター考古学講座「九州・沖縄発掘最前線」に関する年間スケジュール及びポスター	福岡市埋蔵文化財センター	H14. 2.19

(8) 研修・体験学習等の受入れ

研修の一環として埋蔵文化財センターの見学や調査現場での体験学習を取入れる学校、教育機関が増加している。平成13年度は高等学校2校、小学校3校の見学・実習があった。

これ以外にも、多くの各種学校、史談会等が訪れている。今年度も昨年度に引き続き移動県民学校による視察見学もあった。

見学・研修・体験学習

内 容	場 所	依 頼 者	実施日	参加者数
分館見学	埋蔵文化財センター分館	鹿児島県郡山町立花尾学校 南方小学校	H13. 6. 6	7名
分館見学 (宮崎地方学園)	埋蔵文化財センター分館	宮崎教育事務所	H13. 6.13	54名
分館見学	埋蔵文化財センター分館	宮崎大学教育文化学部 附属小学校 (6年児童及び保護者)	H13. 7.15	268名
ニーズ研修 (小学校社会)	埋蔵文化財センター本館 下耳切第3遺跡	宮崎県教育研修センター	H13. 7. 3	26名
6年生の調べ学習のための 分館施設利用	埋蔵文化財センター分館	佐土原町立那珂小学校	H13. 7.11	30名
親子発掘体験学習	野首第2遺跡 発掘調査現場	保護者代表 安藤 真奈美	H13. 7.27	9名
職場体験実習	埋蔵文化財センター分館	宮崎県立宮崎南高等学校	H13. 8. 2	6名
町文化財保護審議会委員の 研修視察	埋蔵文化財センター分館	鹿児島県祁答院町教育 委員会	H13. 8.21	6名
下耳切第3遺跡研修視察	下耳切第3遺跡 発掘調査現場	高鍋商工会議所女性会	H13. 9.11	25名
分館見学	埋蔵文化財センター分館	都城市立五十市中学校 家庭教育学級	H13. 9.21	20名
職場体験実習	埋蔵文化財センター分館	宮崎県立小林高等学校	H13.11.6,7	4名
移動県民学校施設見学 (北方町婦人連絡協議会)	埋蔵文化財センター分館	宮崎県広報公聴課	H14. 2.14	20名
本館見学	埋蔵文化財センター分館	佐土原町立久峰中学校 家庭教育学級	H14. 1.17	15名
第16回宮崎県公立学校 初任者研修会	下那珂遺跡 発掘調査現場	宮崎県教育研修センター	H14. 1.31	15名

視察等

来館者	来館日	目的
中国山東省濰坊市人民政府訪日団 5名	H13.11.15	施設の視察
北九州市立考古博物館 学芸員 松井 和幸	H14. 1.11	施設の視察
大分県教育庁文化課 参事 麻生 祐治 主幹 西 哲弘	H14. 2.15	体制, 調査の進行管理, 予算執行状況等
佐賀県教育庁文化課 嘱託 深澤 幸江	H14. 3.20	宮崎県内における最近の旧石器時代遺跡の調査成果について
高知県立歴史民族資料館 主任学芸員 梅野 光興	H14. 3.28	施設の視察
福岡市埋蔵文化財センター 所長 塩屋 勝利	H14. 3.28	施設の視察

(9) 会議・職員研修

奈良国立文化財研究所で実施している発掘技術者研修や、全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会主催の各種会議等に職員を派遣し、職員の資質向上と業務の円滑な推進を図っている。

内 容	日 程	開 催 地	出 席 者
全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会総会研修会	H13. 5.24~25	奈良県奈良市	矢野 剛 上野 広宣
県地方史研究連絡協議会総会	H13. 7.18	宮崎市	小山 博
公立埋蔵文化財センター連絡協議会研修会	H13. 11.15~16	三重県松坂市	菊地 茂仁 吉本 正典 大村公美恵
県地方史研究連絡協議会秋期研究発表大会	H13. 11.22	日向市	岩永 哲夫
平成13年度埋蔵文化財発掘技術者専門研修「陶磁器調査課程」	H14. 2.19~26	奈良県奈良市	高橋 浩子

(10) 職員派遣

市町村の教育委員会に埋蔵文化財の専門的・技術的な指導を行い、諸機関・団体主催後援会等の普及啓発行事にも職員派遣している。

内 容	派遣期日	依 頼 者	派遣職員
高野原・永迫第2遺跡整理作業に伴う出土旧石器に関する調査指導	H13. 5.15 H14. 2.28	高岡町教育委員会	藤木 聡
郷土史講座講師	H13. 5. 28	新富町教育委員会	藤木 聡
第1回『宮崎の歴史文化講座』講師	H13. 6. 17	宮崎市 みやざき歴史文化館	長津 宗重
高鍋町史友会講座	H13. 6.21	高鍋町史友会	長津 宗重
第3回『宮崎の歴史文化講座』講師	H13. 8. 5	宮崎市 みやざき歴史文化館	小山 博

内 容	派遣期日	依 頼 者	派遣職員
総合博物館講座遺跡発掘体験教室	H13. 9.16	宮崎県総合博物館	長津 宗重 松本 茂
下ノ山遺跡調査指導	H13.10.12,19	佐土原町教育委員会	永友 良典
北方町発掘調査指導	H13.11.20 H13.12.19	北方町教育委員会	岩永 哲夫 面高 哲郎
職員研修「古代住居づくり」講師	H14. 1.17	宮崎県総合博物館	吉本 正典
嘉穂・山田社会教育振興協議会文化部会研修会 講師	H14. 3. 1	福岡県嘉穂・山田社会教育 振興協議会文化部会研修会	藤木 聡
田野町「日高城址」調査指導	H14. 3. 7	田野町歴史サークル	福田 泰典

(11) 研究参加

内 容	期 日	依 頼 者	派遣職員
宮崎の教育創造プラン策定に係る ワーキンググループ会議	H13. 7.25, 8. 8, 8.24, 10. 4, 11.20	宮崎県教育庁 教育企画室	橋本 英俊
「考古学資料の情報集成的研究」 「経塚」関係データ収集及び調査カード作成	H13. 8.27 ～H14.3.31	国立歴史民族博物館	甲斐 貴充

(12) 労働安全衛生関係の講習等への参加

調査現場及びセンター内での安全衛生を図るため、各講習会へ担当職員の参加を実施している。

	内 容	期 日	参 加 者
1	労働災害防止研修会	H13. 5.31	菊地 茂仁 菅付 和樹
2	防災気象講習会	H13. 6.14	菊地 茂仁 福田 泰典
3	緊急救命法講習会	H13. 6.22 6.29	調査一課・二課職員
4	第二種衛生管理者試験	H13. 8.22	谷口 武範
5	地山掘削・土止め支保工作作業主任者講習会	H13. 8.29～31	高橋 浩子 橋本 英俊
6	有機溶剤作業主任者技能講習会	H14. 1.11	杉田 康之

IV 宮崎県埋蔵文化財センター管理規則

(平成8. 3. 29 教育委員会規則第5号)

最終改正 平成12. 3. 教育委員会規則第8号

(趣 旨)

第1条 この規則は別に定めるもののほか、宮崎県埋蔵文化財センター及び宮崎県埋蔵文化財センター分館（以下「埋蔵文化財センター」という。）の管理運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(事 業)

第2条 埋蔵文化財センターは、次に掲げる事業を行う。

1. 埋蔵文化財の調査研究に関すること。
2. 出土品その他の資料の保存及び活用に関すること。
3. 埋蔵文化財の調査研究に係る図書その他の資料の整備に関すること。
4. 埋蔵文化財関係者の専門的、技術的な研修及び指導に関すること。
5. 埋蔵文化財保護思想の普及及び啓発に関すること。
6. その他埋蔵文化財保護に必要な事業に関すること。

(組 織)

第3条 埋蔵文化財センターに、次の表の左欄に掲げる課を置き、課にそれぞれ同表の右欄に掲げる係を置く。

課	係
総 務 課	総務係
調 査 第 一 課	調査第一係 調査第二係
調 査 第 二 課	調査第三係 調査第四係
普 及 資 料 課	普及資料係

(分掌事務)

第4条 前条に規定する各課の分掌事務は、次のとおりとする。

総 務 課

1. 職員の人事、給与及び服務に関すること。
2. 予算の執行及び決算に関すること。
3. 文書の收受、発送及び保存に関すること。
4. 公印の管守に関すること。
5. 施設及び設備の管理に関すること。
6. その他他の課の所管に属さない事項に関すること。

調査第一課

1. 東九州自動車道建設に伴う埋蔵文化財の発掘調査に関すること。
2. 前号の発掘調査に係る出土品その他の資料の整理に関すること。
3. 第1号の発掘調査に係る発掘調査報告書の作成等に関すること。

調査第二課

1. 国、県関係事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査に関すること。
2. 前号の発掘調査に係る出土品その他の資料の整理に関すること。
3. 第1号の発掘調査に係る発掘調査報告書の作成等に関すること。

普及資料課

1. 出土品の保存処理、修復、保存管理及び活用に関すること。
2. 埋蔵文化財の調査研究に係る図書その他の資料の整備に関すること。
3. 出土品その他の資料及び埋蔵文化財の調査研究に係る図書その他の資料（以下「資料等」という。）の貸し出しに関すること。
4. 埋蔵文化財関係者に対する専門的、技術的な研修及び指導に関すること。

(職及び職務)

第5条 埋蔵文化財センターに次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は同表右欄に掲げるとおりとする。

職	職 務
所 長	所務を掌理し、所属職員を指揮監督する。
副 所 長 (二人)	所長を補佐し、所長に事故があるとき、又は所長が欠けたときは、その職務を代行する。
課 長	上司の命を受けて、課の事務を処理する。
係 長	上司の命を受けて、係の事務を処理する。
主任主事	上司の命を受けて、複雑な事務に従事する。
主 事	上司の命を受けて、事務に従事する。

2. 前項に規定する副所長の職務の担当区分は、1人を統括とし、他を業務担当とする。
3. 第一項の規定により副所長が所長の職務を代行する順序は次の通りとする。
 第一順位 統括の副所長
 第二順位 業務担当の副所長
4. 第一項に規定する職のほか、埋蔵文化財センターに必要なに応じ、次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は同表の右欄に掲げるとおりとする。

職	職	務
副 参 事	上司の命を受けて、埋蔵文化財センターの特定の事務を掌理する。	
主 幹	上司の命を受けて、埋蔵文化財センターの特定の事務を処理する。	
主 任	上司の命を受けて、専門的業務を処理する。	
主 査	上司の命を受けて、専門的業務に従事する。	

(その他の職)

第6条 前条に規定する職のほか、埋蔵文化財センターに必要なに応じ、その他の職員の職として技術員を置く。

2. 技術員は、上司の命を受けて、技能又は労務に従事する。

(開館時間等)

第7条 埋蔵文化財センターの開館時間は、午前9時から午後5時までとする。

2. 埋蔵文化財センターの入館時間は、午前9時から午後4時30分までとする。

(休 館 日)

第8条 埋蔵文化財センターの休館日は、次のとおりとする。

区 分	休 館 日
宮崎県埋蔵文化財センター	<ol style="list-style-type: none"> 1. 土曜日及び日曜日 2. 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。） 3. 1月1日から1月4日まで及び12月28日から12月31日まで（休日を除く。） 4. 特別整理期間（あらかじめ所長が定めて公示する期間をいう。以下同じ。）
宮崎県埋蔵文化財センター分館	<ol style="list-style-type: none"> 1. 月曜日（休日にあたることを除く。） 2. 休日の翌日（土曜日・日曜日又は休日に当たるときを除く。） 3. 1月1日から1月4日まで及び12月28日から12月31日まで 4. 特別整理期間

2. 所長は、必要があると認めるときは、前項の規定にかかわらず、臨時に同項各号に掲げる日に開館し、又は同項各号に掲げる日以外の日に休館することができる。

(入館の制限等)

第9条 所長は、埋蔵文化財センターを利用しようとする者が次の各号のいずれかに該当するときは、その入館を制限し、若しくは退館を命じ、又はその利用を中止させることができる。

1. 公の秩序又は善良の風俗を乱すおそれがあると認められるとき。
2. 施設、設備、備品等を損傷し、又は滅失するおそれがあると認められるとき。
3. 所長が指定する場所以外において喫煙又は飲食をしたとき。
4. 条例若しくは規則又は所長の指示に従わないとき。
5. 前各号に掲げる場合のほか、埋蔵文化財センターの管理運営上支障があると認められるとき。

(資料等の館内利用)

第10条 館内において資料等を利用しようとする者は、資料等館内利用承認申請書（別記様式第1号）を所長に提出して、所長の承認を受けなければならない。

(資料等の館外貸出し)

第11条 次に掲げるものは、資料等の館外貸出しを受けることができる。

1. 国立の博物館、博物館法（昭和26年法律第285号）第2条第1項に規定する博物館及び同法第29条の規定により文部大臣又は宮崎県教育委員会が博物館に相当する施設として指定したもの
 2. 社会教育法（昭和24年法律第207号）第21条に規定する公民館
 3. 学校教育法（昭和22年法律第26号）第1条に規定する学校
 4. 国又は地方公共団体の設置する教育又は文化に関する調査研究機関
 5. 市町村立の歴史民族資料館等で宮崎県教育委員会教育長（以下「教育長」という。）が定めるもの
 6. その他教育長が適当と認めるもの
2. 資料等の館外貸出しの期間は、30日以内とする。ただし、所長が特に必要があると認めるときは、これを延長し、又は貸出しの期間中であっても、当該資料等の返還を求めることができる。
 3. 資料等の館外貸出しを受けようとする者は、資料等館外貸出し承認申請書（別記様式第2号）を所長に提出し、所長の承認

を受けなければならない。

4 所長は、出土品その他の資料について前項の承認をしようとするときは、次の事項を確認しなければならない。

1. 貸出しを受ける目的が当該出土品その他の資料の保存及び活用にとって適切であること。
2. 当該出土品その他の資料の保管、展示等を適切に行うための施設及び設備が整備されていること。
3. 貸出しの期間中当該出土品その他の資料が適切な知識、技能を持つ者に取り扱われること。

(弁 償)

第12条 入館者、館内利用者又は資料等の館外貸出しを受けた者は、資料等、設備又は備品を亡失し、破損し、又は汚損したときは、所長の指示に従い、その修理又は損害の賠償をしなければならない。

(委 任)

第13条 この規則に定めるもののほか、埋蔵文化財センターの運営管理に関し必要な事項は、別に定める。

附 則 (抄)

(施行期日)

1. この規則は、平成8年4月1日から施行する。

附 則 (平成12. 3. 31 教育委員会規則第8号)

この規則は、平成12年4月1日から施行する。

別記

様式第1号（第10条関係）

資料等館内利用承認申請書

年 月 日

宮崎県埋蔵文化財センター所長 殿

住 所
申請者 氏 名
電話番号

（法人にあつては主たる事務所の所在地、
名称及び電話番号並びに代表者の氏名）

資料等の館内利用をしたいので、宮崎県埋蔵文化財センター管理規則第10条の規定により、次のとおり申請します。

館内利用の目的			
資料等の名称	形 状	数 量	備 考

資料等館外貸出承認申請書

年 月 日

宮崎県埋蔵文化財センター所長 殿

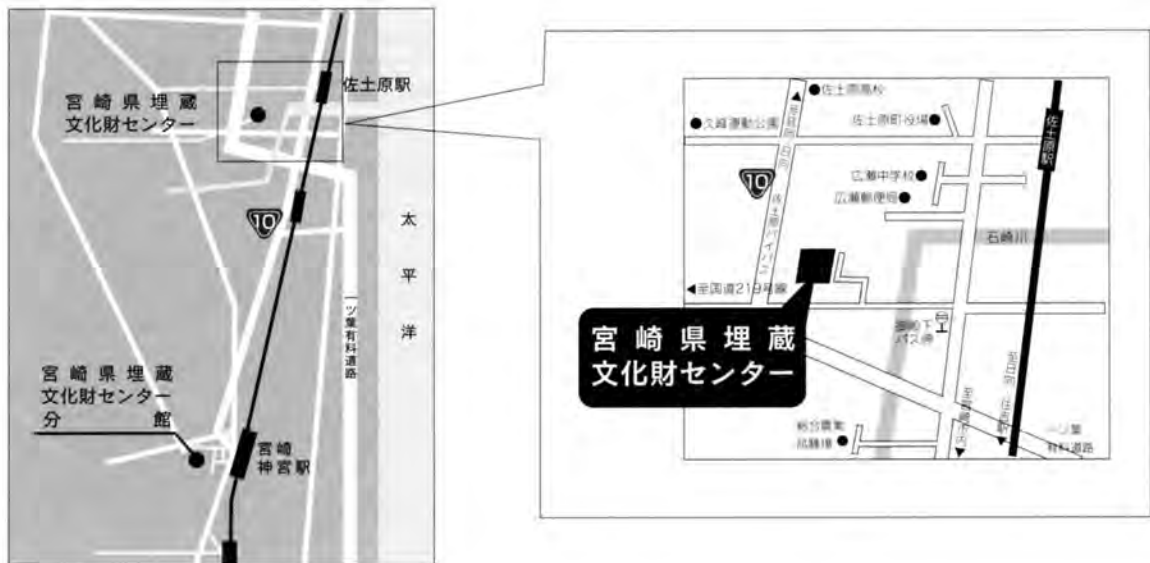
住 所
申請者 氏 名
電話番号

（法人にあつては主たる事務所の所在地、
名称及び電話番号並びに代表者の氏名）

資料等の館外貸出しを受けたいので、宮崎県埋蔵文化財センター管理規則第11条第3項の規定により、次のとおり申請します。

館外貸出の目的			
資料等の名称	形 状	数 量	備 考
館外貸出期間	年 月 日から 年 月 日まで		

(案 内 図)



宮崎県埋蔵文化財センター

〒880-0212 宮崎郡佐土原町大字下那珂4019番地
 Tel.0985-36-1171・36-1172 Fax.0985-72-0660
 E-mail:m-maibun@galaxy.ocn.ne.jp
 ◎佐土原駅 (JR) 車10分 ◎御殿下バス停徒歩8分

宮崎県埋蔵文化財センター神宮分館

宮崎市神宮2丁目4-4 (〒880-0053)
 TEL0985-21-1600
 FAX0985-26-2634

- 宮崎神宮駅 (JR) - 徒歩10分
- 宮崎神宮行きバス-神宮終点下車徒歩10分
- 綾・国富・平和が丘行きバス-「博物館前」下車徒歩2分

位置

- 観覧時間
午前9時～午後5時 (入館は午後4時30分まで)
- 休館日
毎週月曜日 国民の祝日の翌日 年末年始 (12月28日～1月4日)
- 入館料 無料



宮崎県埋蔵文化センター年報第6号
平成14年度（2002）

編集・発行：宮崎県埋蔵文化センター
880-0212
宮崎郡佐土原町大字下那珂4019
発行月：平成14年6月
印刷：小柳印刷株式会社
宮崎市旭1丁目6-25

宮崎県埋蔵文化財センター

〒880-0212 宮崎郡佐土原町大字下那珂4019番地
Tel.0985-36-1171・36-1172 Fax0985-72-0660
◎佐土原駅（JR）車10分 ◎御殿下バス停徒歩8分